

あやがわ



# 議会だより



2011年初詣風景（滝宮天満宮）



|            |        |
|------------|--------|
| 新年のごあいさつ   | 2p     |
| 定例会のあらまし   | 3p     |
| 委員会報告      | 3～5p   |
| 一般質問に8人が登壇 | 5～9p   |
| 決算特別委員会報告  | 10～11p |
| 傍聴記        | 12p    |

新年のごあいさつ

綾川町議会議長 造田 節夫



平成二十三年の新しい年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。町民の皆さんにとって、健やかで、幸せな一年となりますようお祈り申し上げます。

新しい年の願いのひとつは、景気の回復をはかり、所得と雇用を伸ばして、安定した生活基盤を作ることにあります。もうひとつは、将来への安心を約束する福祉や年金、医療のセーフティネットワークの充実が求められています。これらの願いがかなえられるよう、働きかけを強めていきます。

新しい年を迎える綾川町は、「笑顔あふれる定住のまち」の町是をしっかりと踏まえ、健全な財政運営のもとに、産業である商工業と農業の振興、福祉や生活環境の整備、未来を託す子供たちの教育に力を注ぎ、町の発展をめざしていきます。また、住んでいて心のやすらぐ地域の安心、安全のネットワークやお互いが支え合う強い絆のまちづくりも大切といえます。

今年の干支の「うさぎ」にちなみ、大きな耳で皆さんの声をしっかりと受けとめ、大きな目で周囲の状況を見極め、そして「ピョン・ピョン」と躍動する綾川町にしたいものです。町民みなさまの議会に対するご指導、ご協力をお願いしごあいさつとします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

綾川町議会

- 議長 造田 節夫
- 副議長 鈴木 義明
- 議員 宮本 勝利
- 議員 安藤 利光
- 議員 石井 和義
- 議員 野中 邦夫
- 議員 村瀬 秀則
- 議員 碓石 眞己
- 議員 河野 雅廣
- 議員 田辺 健次
- 議員 中西 一幸
- 議員 松浦 正昭
- 議員 横井 薫
- 議員 福家利智子
- 議員 福家 功
- 議員 川崎 泰史

12月定例会

町立学校等の再編整備

調査特別委員会を設置

12月定例会は13日から17日までの5日間を会期として開催した。

本会議初日は町長から、「平成22年度一般会計・特別会計補正予算」「過疎地域自立促進計画」など議案15件、報告1件の提案理由の説明があり、8議員による一般質問のあと、提案された各議案を関係常任委員会に付託し散会した。最終日の17日には、追加された生涯学習センターの工事請負契約の締結に関する議案3件を含む議案18件および発議「綾川町立学校等再編整備調査特別委員会」の設置について「行政書士法の遵守について」の陳情書を、いずれも原案通り可決した。

また、9月議会からの継続審議であった「21年度綾川町一般、特別、公営企業会計の決算認定」については、1名を除く賛成多数で可決し、閉会した。

綾川町立学校等再編整備調査特別委員会  
委員長 河野 雅廣  
副委員長 松浦 正昭  
委員 他議長を除く 13名(全員)

生涯学習センター(仮称)建設に  
5億4820万5000円

生涯学習センター  
建築工事  
4億3806万円  
鹿島建設(株)

生涯学習センター  
電気設備工事  
5554万5000円  
大一電気工業(株)



綾上中学校



生涯学習センター(仮称)の建設予定地

生涯学習センター  
機械設備工事  
5460万円  
雉島工業(株)

工期 平成24年1月20日まで

## 補正予算

### ◎一般会計

歳入歳出それぞれ73億43万7000円増額し、総額を81億1216万3000円とした。

歳入の主なものは地方交付税、分担金及び負担金、前年度繰越金など。

歳出の主なものは、人事院勧告に基づく給与改定による減額。県営土地改良事業に係る負担金、子宮頸がん予防接種等の実施に伴う委託料などの増額。

### ◎広域定住自立圏の形成に関する協定の変更

22年1月に締結した瀬戸・高松定住自立圏の協定書(高松市、小豆島、土庄、直島、三木、綾川町)が定住に必要な都市機能や生活機能を確保し、中枢機能の強化と圏域内への人の流れを創出するため

### ◎固定資産評価員の選任同意

現在不在になつてい

射場 洋 氏(58才)  
綾川町羽床下326番地1



## 総務委員会

12/14

### 補正予算の主なもの

歳出

◎綾上小・中学校への地デジアンテナ設置。

◎綾南中学校合唱部の全国大会(銅賞)出場に補助するなど。

### 歳入

「地方交付税」の増額、「臨時財政対策債」で2億5000万円の減額、財政調整基金繰入金を、7億185万3000円減額など。

**問** 臨時職員の標準的な賃金表はあるのか。

**答** 今後、近隣市町と比較検討し、適正な運用を図っていく。

**問** 地上デジタル放送により、チャンネルが受信できない地域への支援は行うのか。

**答** 地上デジタル放送の完全移行後にどのような問題が出てくるかは予想できないため、今のところ支援は考えていない。

### 陶小学校に新たな特別支援学級を

**問** 特別に支援が必要な児童数が、増加傾向にあるが、町の状況はどうか。

**答** 保護者の意向も踏まえつつ、就学指導委員会での判定を行い、受け入れを行っている。

### バス路線変更により増額

粉所線、西分線にそれぞれ2カ所ずつバス停を設置し、イオン綾川への乗り入れを行う。滝宮・羽床線でバス停を1カ所廃止するため経費を増額する。

**問** デマンド型のバスの実施を考えていないのか。

**答** デマンド型バスの導入については、今後検討を重ねていく。

### 綾川町過疎地域

#### 自立促進計画

旧綾上地域において22年度から27年度まで51事業、37億8247万円の事業費を計上。

**問** 前回の積み残し事業は、どのようなものか。

**答** 事業数では約71%、

## 臨時会

11月26日に、第6回臨時会を開会し、給与条例の一部改正についての議案3件及び、工事請負契約の締結についての議案1件を原案通り可決した。

### 議員、町長、副町長及び職員との給与条例一部改正

議員、町長、副町長は期末手当を0.15ヵ月カット

### 工事請負契約の締結

した。一般職は、給料月額15%引き下げ、期末手当を0.2ヵ月分減額支給した。

### 工事名

綾川町小規模多機能型介護施設整備工事、耐震補強工事

### 契約金額

7665万円

### 契約者

(株)合田工務店  
代表取締役 森田紘一

**問** 昨年、工事を行った合田工務店にペナルティを科していないのか。また、指名停止の取扱を、議会になぜ報告しなかったのか。

**答** 指名停止の通知はしていないが、22年4月より半年間指名停止と同じ扱いを行った。今後このようなことが無いように十分注意したい。

事業費では75%の執行率。積み残しの主なものは、町道の改良事業であるが、修繕など計画的に実施している。また綾上中学校の耐震関連事業も計画している。

### 学校等再編整備

#### 住民説明会を開催

これまでの経過と質疑、今後の方向性、スケジュール等について説明を行い、統合準備会の設置について説明した。

**問** 統合準備会の設立に至る前に意見交換を行うべきではないか。

**答** 設立に際しては、具体的な素案を提示し、PTA役員、保護者、地域住民の理解が得られるよう努めたい。

綾南中学校の改築は、現地調査等を実施しており、具体的な計画を定め、基本設計、実施設計を行う。

報告 来年度の小学校の運動会は実施時期を5月29日(日)とする方向で、公民館運営協議会と協議を行っている。

**問** 小・中学校の空調設備は、近隣市町の状況からみても、早急に整備する必要があるのではないかと。

**答** 中学校は大規模改修、改築時に整備し、小学校では早急に整備が図られるよう検討したい。

**総務委員協議会** 11/29

**駐車場の確保**

**問** 生涯学習センターが完成した後、駐車場がスムーズに利用できるような対応を。

**答** 駐車場は、生涯学習センターへの進入路なども含めて検討している。利用者の中にも考えて、庁舎北側道路を拡幅して、2車線での計画をもっている。また、年度末までには商工会館を撤去し駐車場に、更に公用車の車庫を改造し書庫として活用したい。

**厚生委員会**

12/15

**問** 小規模多機能型介護施設の開所時期はいつか。また、業者の工事指導はどのように。

**答** 23年4月頃の開所を予定。施工は、請負業者十分に指導しており、工事監理業者にも指導している。



改修工事が始まった旧羽床上小学校

**問** 墓地の使用許可は、墓地の返還理由は、また、現在の墓が山間部にあり、移転の希望者などには、柔軟に対応して欲しい。

**答** 返還は転居したため、手放さざるを得なくなつた。柔軟な対応をする。早く使用許可を出して使用料を徴収し、早急に建設費等の充當を図ろうとしていたが、結果的に墓石の建たない未使用の区画が多く、区画の返還というケースも多く発生している。今後、お墓を必要とする方を優先していく。

**答** 返還は転居したため、手放さざるを得なくなつた。柔軟な対応をする。早く使用許可を出して使用料を徴収し、早急に建設費等の充當を図ろうとしていたが、結果的に墓石の建たない未使用の区画が多く、区画の返還というケースも多く発生している。今後、お墓を必要とする方を優先していく。

**問** 介護老人保健施設あやがわの入所状況は、また、優先入所はあるのか。

**答** 入所待機者は、約20名。入所者の決定は、入所判定会で決定しており、優先的な入所はない。ただし、緊急入所は、事情により行う場合がある。

**問** 霊柩車は今後も今までどおり送迎を行うのか。また、高松市国分寺町は23年度から町外扱いになるとのことだが、また、本町の自宅葬の割合は。

**答** 霊柩車は今後もかわらず送迎を行う。また、国分寺町の祭壇は3月末で本町に引き上げ、住民への貸し出しに使う。自宅葬の割合は、21年度で33%、22年度は現在のところ25%である。

**問** マイクロバスの送迎の代替は、また、山間部の限界集落等で、自宅葬が出来ない集落がある。続けてほしい。

**答** 火葬場は、24年度から指定管理者制度により運営を行う予定である。また、24年3月で1名職員が退職する。今後の運営は、霊柩車の運転手・案内人・火葬炉担当の3名で行う予定。霊柩車はそのまま残すが、経費面を考へてマイクロバスは廃止をしたいと考へている。

**問** 今後、限界集落の健全な機能が堅持できるように議会とともに協議して行く。

乳児保育の実施を

**問** 羽床保育所の存続について陳情があったが、特別保育の充実として乳児保育の実施要望についてどのように考へているのか。

**答** 現在、3・4歳児の混合保育を行っている。今後、年齢別保育を行う場合、空き保育室はなく、また、乳児保育を行うためには、ほふく室・沐浴等が必要となり、現状で



羽床保育所

**答** 地元への事前説明及び綾川農業振興地域整備計画に基づき事業を実施している。

**建設経済委員会**

12/16

**一般会計補正予算**

**問** 道路台帳補正業務委託料増額補正は。

**答** 昨年度に事業完了した県営基盤整備事業の綾南南部地区、山田地区及び牛川地区、各3地区内の町道路線の起・終点の変更等、道路区域の変更に伴う道路台帳補正業務量の増加による補正である。

**問** 県営経営体育成基盤整備事業羽床上東地区の国道377号線沿いの開発計画との調整は。

**問** 橋梁長寿命化修繕計

画策定業務委託の今後の予定は。

**答** 今回の補正予算議決後、入札を行い、業務完了日を年度末の予定で進めて行く。

### 綾南プラザ道の駅

本年度は、7月の産直部門の空調施設工事の影響と、9月のシルバークワイークがなかったこと、また高速道路の通行料金引き下げ効果も薄れたことにより、入場者・売上金額が前年より減少した。

今後、産直部門に引き続き、カフェ部門とレストラン部門において改修工事を行い、経営改善や販売促進等について運営委員会で研究・検討を重ね、健全な運営に努める。

**問** 今回の改修工事の予算措置と、今後の施設修繕並びに町の考え方は。

**答** 一般会計予算で計上しており、施設の修繕は町が行い、軽微な修繕は綾南プラザで行う。また健全運営で利益を出していくよう、今後運営委員会のみならず議会とも

協議をする。

**問** 陶地区での高松市の最終処分場の下水道接続は。

**答** 現在、高松市において県道部分の下水管は工事中であり、工事完了後は町に移管され、処分場からの接続管は高松市が施工し高松市において管

### 建設経済委員協議会 11/29

### 鎌手ポンプ場が完成

繰越していた鎌手ポンプ場と生子から綾上中区配水池への連絡管の工事が竣工した。

財源は地域活性化危機対策特別交付金と水道の自主財源であり、ポンプ場の受水槽の容量は100トンで、送水能力1時間当たり50トンのポンプを設置している。また、ポンプ場を通さず綾上中区配水池から生子側へ送水する施設が完成した。耐用年数は60年程度で、

理する。

受益者分担金は施設面積1㎡あたり500円を賦課し、下水道使用料は、毎月の流入量により請求する。計画流入量は、日量約90㎡の予定。汚水処理能力等は、流域下水道の管理者である県と事前協議の上、県より区域外流入の承認を受けたものである。

メンテナンスは施工業者にその都度依頼する。



鎌手ポンプ場(山田上)

## いっぱん質問

福家 利智子 議員

**Q** 自主防災組織化は

**A** 災害に強い街づくりを目指す

の連携及び協働により防災対策を実践している。引き続き災害に強い街づくりに取り組む。

**Q** 小中高生の暴力行為対策は

**A** 暴力がない学校づくりに邁進

**問** 県内小中高生の暴力行為が過去最多。全国ワーストワンの憂慮すべき事態となっている。学校内外における生徒の指導にどのように対応しているのか。また、児童、生

徒の健全な育成についての考えは。

**町長** 問題行動の未然防止、早期対応、早期発見に向けて学校を支援する「スクール・サポート・チーム」事業を22年11月から実施している。個別指導や生活支援員の配置、社会福祉士の巡回などにより、学校を支援している。今後とも学校、家庭、地域社会が密接に連携して、児童生徒の健全育成に努める。



防災訓練での土のう作成 (11月21日)

**問** 災害時には、弱者でもある高齢者世帯、ひとり暮らし世帯を直撃し、大きな危険がある。被害を防ぐ事前の備えと、迅速に対応できる危機管理体制を整えることが必要である。安心・安全のまちづくりの拠点となる自主防災組織の活動に対する町の対策は。

**町長** 町は毎年、自主防災会を中心に町民参加型の災害時に備えた防災訓練を実施。行政が支える「公助」のみならず地域と

Q TPPによる町への影響額は

A 米で5億2000万円と

壊滅的な打撃を被る

問 香川県知事は、TPP参加の場合、農業算出額で264億円の減少となり、米は9割が外国産になると述べた。農業安定と食糧自給率向上を行うため、TPPに参加しないように国に要請を。作付農家にも不安が広がっている。町への影響は。

備を行っている先進地を研究せよ」など意見が出されていた。長野県下條村では若者が増えることは町が発展するとし、毎年住宅を1棟建設し、人口も10年で1割増加させた。医療費も中学生まで無料化し努力している村

がある。町は研究、検討を。町長 町営住宅の建築は、次期5カ年計画で考える。保育料は県下で低い方である。中学生までの医療費無料化は、他の施策も研究し、保護者の理解が得られるよう充分検討したい。

町長 TPPに参加し関税撤廃された時、米で100%影響を受け5億2000万円、牛肉と豚肉で1億円の影響額が出る。国へ農業の実情を強く要望する。

Q 若い人が増える明るい町に

A 次期5カ年計画で町営住宅は考えていく

問 12月5日の住民説明会では、住民から「人数が減る話ばかりで将来が暗い。育児しやすい環境整



TPP参加反対の全国集会

田辺 健次 議員

Q 綾南プラザの経営状況は

A 運営委員会で協議を行う

担の業務委託料は削減に努めるような見直しの時期に来ているので

町長 本年度は、来客数が前年より2500人減少している。

経営改善策は、2カ月ごとのフリーマーケットの開催や道の駅イベントの実施等による集客対策、うどんの新規メニューの開発と営業時間を変更し、経常費の抑制に努めた。

セルフ方式については、現段階では現状での方式を考えており、お客様を待たさないように対処していきたいと考えている。「さぬき夢2009」に切り替えは3年後になる。

うどん会館の看板を国道近くに設置する件については、香川河川国道事務所の許可が得られなかった。引き続き運営委員会等において、経営改善や販売促進等について検討、営業収支の改善が図られるよう協議を行う。



綾南プラザ

村瀬 秀則 議員

Q スマートグリッド

(次世代送電網) 計画は

A 地域が一体となり、

取組みに参加し、検討したい

なって取組みに参加し、経過などを検証しながら、今後、綾川町として環境対策及び住民の生活を、どのような形で取組んでいくか検討したい。

Q

町内中小企業に対する労働力確保・雇用等に係る取り組みは

A

今後の課題とし、調査・研究したい

内にある事業所は、569社、従業員数7585人が就業しており、自治体内の企業が繁栄してこそ町の発展があるので、企業の育成・存続は重要と考える。労働力の確保と、雇用安定などの増進を図る政策については、今後の課題として調査・研究したい。

Q

世界を巻き込んだ財政不安の中、中小企業も未だに影響を受けている。町として独自の町民の労働力確保・雇用安定施策の必要性が今ほど大切なところはないかと思うが。

世界各国において環境問題をテーマとした諸問題についての取り組みが加速の中、現在の集中エネルギーのインフラ整備とスマート的なサービスを組み合わせることによる、新エネルギー対策への移行計画の考えは。町長 現在、国内の企業が参入して、研究中と聞いている。産業、住民、自治体など、地域が一体と

町長

町



スマートコミュニティのイメージ

川崎 泰史 議員

Q 広報業務に対する町の姿勢

A 指摘を考慮し

今後の広報紙面に反映する

各種の広報は、伝える相手に伝わってこそ初めて意味を成す。そのため相手に伝わらない広報は、出していないのと同じことになる。ここまで

やったから大丈夫ではなく、他に何ができるかを考えた積極的な姿勢が必要であると思う。各種の施策は住民に伝わって初めて意味を成す。住民

に伝わっていないければ、住民にとって、やっではないのと同じ事になる。また、若い世代では、何かあるとウェブサイトに(ホームページ)をのぞき、情報がないか確認する。わかりやすい情報の充実がそのまま町への評価になる。以上を踏まえ、今後の綾川町の広報に対する姿勢、方針は。

また、公共的団体等を含めて、町内すべてのイベントを網羅するような広報や、ツイッターなどの最新の技術を活用し、より住民視点での広報を検討しては。

町長 短期間での編集・校正作業となることから、情報を盛り込むことに重点が置かれ、分かりやすさを欠いていると感じたのではと推察する。

情報化社会の中、個人情報への配慮を行った上で効果、効率性を検証し、迅速かつ正確で分かりやすい情報提供を行う。今後の検討課題としたい。

町長 短期間での編集・校正作業となることから、情報を盛り込むことに重点が置かれ、分かりやすさを欠いていると感じたのではと推察する。

## 福家 功 議員

### Q 町としての防犯対策は

**A 防犯灯・カメラなどを設置し、  
犯罪の発生を未然に防止する**

の町」の実現に努めるため、町全体としてソフト・ハードの両面から計画的に取り組みが必要があると思われが。

**町長** 町

は、綾川町安全・

**問** 10月末、山田上地区において不審者情報が寄せられた。綾川町の未来を担う子供たちの安全を確保することは、町民にとって大変重要な事の一つである。町としての防犯対策の現状と取り組みの成果は。

地域では、防犯灯を兼ねた道路照明灯の設置を望む声も聞こえる。子供たちが使用する通学路のみならず、町民が使用するバス停・駅周辺「いきいきと笑顔あふれる定住

安心まちづくり条例を制定し、専門的な方々で構成する団体との連携を図り努力している。各学校では危険箇所・注意箇所等の安全マップを作成し、教職員で現地確認を行い注意を喚起している。また、地域安全ボランティアにより、下校時に広報車による町内巡回パトロールの実施、下校時に同行するなどの見守り、かけこみSOS等の看板設置等に協力をいただいている。併せて学校・警察・近隣の少年育成

センターとの情報交換など取り組みを図っている。また、施設整備等は新年度から、夜間における犯罪発生状況や歩行者又は自転車等による通行人が比較的多い場所を対象に、新たに防犯灯の設置について検討している。県警察は、防犯カメラを本年度内に町内の人通りの多い2カ所に設置し、犯罪の発生を未然に防止する。



子どもかけこみ110番

## 河野 雅廣 議員

### Q 特色ある教育方針を

**A 教育行政の充実に一層努める**

**問** 町立学校等再編整備

進する。

備についての説明会・意見交換が町内各所で行われている。学校・幼稚園・保育施設にはそれぞれの歴史や文化があり、そこでつちかわれたことは計り知れないものがあり、地域住民の心のともじびでもある。そこで、これまで説明会において、さまざまな意見が出されているが、保護者ならびに地域住民の不安・不満を解消すべく、新学習指導要領に沿った中にも、綾川町独自の特色ある教育方針・保育指針を示しては。

2. 豊かな心を育む体験重視の教育を推進する。  
3. 保護者や地域社会から信頼される学校づくりを推進する。  
4. 教育に関わる全ての者の資質向上を推進する。

**教育長** 「綾川町教育方針」を策定し、次の4つの事項を柱として、児童生徒の教育の推進を図っている。

また、教育委員会評価を行い、評価をもとに、次年度の改善策を図り、安心と責任ある教育行政に努めている。

1. 「生きる力」を育む知・情・意・体の調和的発達を図る保育所・幼稚園・小学校・中学校教育を推進する。

一方、町内の小・中学校においても、町の教育方針を基に教育目標を掲げ、育てたい子ども像の具現化に向けて、特色ある学校経営が行われている。

さらに、幼保小中学校全職員により「町一貫性教育研究会」が組織され、相互連携を図り、時代のニーズに応じた、町教育の推進につながる研修をしている。

また、いかなる環境に立とうとも、自分らしさを発揮し、夢に向かって努力するとともに、人づくりを目指した教育行政の充実に一層努める。



バスで登下校する綾上小学校の児童



Q 防犯灯設置を

A 発光ダイオード（LED）照明に切り替え

問 現在、消えている防犯灯を、1日も早く修理出来ないものなのか。

町長 今後十分気を付け、住民に迷惑をかけないよう、速やかに対応していきたい。



防犯灯

問 通学路、山間部、消火栓付近への防犯灯を設置してはどうか。

町長 新年度からは、夜間における犯罪発生防止、安全を図るため、歩行者・自転車等の通行の多い場所を対象に、新たに防犯灯設置について検討していきたい。

問 現在の防犯灯（蛍光灯）を、発光ダイオード（LED）照明に切り替えはどうか。

町長 道路照明灯の場合、LED照明に変更した方が明るく、消費電力も、二酸化炭素排出量も、大幅に削減される。従って、22年度当初予算から、修理、新設個所にLED照明を段階的に導入している。

ほかにもこんな質問がありました。

よりよい保育の保障

問 子ども・子育て新システムは、就学前の子育て関連の制度、財源を一元化するとして、2013年度から構想している制度である。その一例は、国がお金をかけずに、保育を企業に参入してもらうなど、制度内容や財源も示されず、保育関係者から不安が広がっている。町は国に要望を。

町長 国は市町村に子ども・子育て交付金の交付は情報提供を行う。町は幼保一体の考え方について、実情をふまえて保育



滝宮保育所

士の設置基準、保育時間の2段階設定など、特色ある幼児教育をめざしていきたい。

若者に出会いの場を

問 町においても、年々人口が減ってきている。人口増加のために、若い人に出会いの場を提供しては。



商工会が今年開催した婚活

一般住宅の耐震診断調査助成は

問 建物の耐震診断の必要性がある中、特に昭和56年建築基準法改正以前の木造建築物に関してはその必要性が多大である。他の自治体では、補助対象・金額の差異はあるが、そのようなサービスを提供している。本町の取り組みは。

町長 現在、県内では坂出市と宇多津町に一般住宅の耐震診断（昭和56年5月31日以前に建築された木造）の補助制度がある。今後、一般住宅の耐震助成について、実情等を研究して、国、県等の動向を見ながら検討する。

町長 町商工会青年部が地域振興活動として今年から年1回程度取り組んでいる。今年男女19組が参加し交流を行った。結婚するためには、就職活動と同じように結婚活動が必要になってきている。今後、関係団体への協力を検討していく。



木造建物

# 企業会計 決算を審査・認定

## 特別会計

歳入66億9273万6000円 歳出64億8656万2000円  
そのうち、6億円を財政調整基金に積み立て。

12月定例会までの継続審査であった「平成21年度の決算審査特別委員会」を11月22日・24日・25日の3日間開催し、慎重に審査した結果、一般会計・特別会計・企業会計の決算をいずれも認定した。



決算審査特別委員会の様子

### 総務関係

**問** 自治会組織未加入者への、広報の個人発送が毎年増えているが、減らす対策は取っているのか。

**答** 住宅・団地等に対し指導をしているが難しい。広報以外の文書もあり、大部分は職員が送付しているが、残り全てが個別発送でなく取りにきてい

ど24地点で調査し、ほぼ全域で受信可能かどうか判明した。電波遮蔽対策事業補助金は、辺地共聴施設への国庫補助金であり、難視聴解消に向けて進んでいる。しかし、デジタル対応が不可能な個所は、衛星からの受信により対応することも1つ考えられる。

ただくこともある。自治会加入促進に協力いただけたら進めたい。

**問** デジタル対応が可能な地域に対し、移行に向けての対応は。

**答** 21年度西分地域な

**問** 国際交流事業費の実績成果はどうあったのか。

**答** 研修生受入れに伴う住宅借上げ費用約100万円。新築市からの来町費用に伴う経費約88万円である。研修生は、研修目的をもつて来ており、住民と交流も行い成果はあると考えている。

**問** 地方交付税が1億円近く減少しているが対策は。また、財政力指数は県下ではどのように。

**答** 合併特例は、3年間の期限があり、それを過ぎると特別交付税は減額される。また、合併特例債は合併後10年間の恩恵措置はあるが、その後5年かけて減額し通常の算定にもどる。そうなれば普通交付税で大きな差が出る。なお、町村会を通じ減額しないよう要望している。財政力指数は県下でも上位にある。

**問** バスの乗車人数が減っているが対策は。また、空白地域へデマンドタクシーを検討しては。

**答** 停留所の見直しや、住民ニーズのある区間において、イオンへの乗り込みも考え乗車人数の増加を図りたい。デマンド方式は、地域公共交通会議で検討している。

**問** 納税者の利便性を考えて、コンビニ収納を検討しては。

**答** 24年度に電算システムの改修があるので、その後コンビニ収納を検討する。

**問** 町税が増えているが、イオン等の固定資産税はどのくらいなのか。

**答** 当初は2億300万円と見ていたが、決算において法人税が4639万円余り増額となる見込みである。

**問** 中学校の建設状況はどうなっているのか。

**答** 綾上中学校は、現在設計を発注している。一方綾南中学校は、周辺の土地評価と家屋調査をしている。

### 厚生関係

**問** 溝川、富川等の水質の追跡調査が必要では。

**答** 町内9河川の水質調査は年2回実施し、追跡調査も年2回行っている。また、西長柄川は、上流に産廃処分場があるの



23年1月完成予定の滝宮なかよし学級

**問** 放課後児童クラブの時間延長はできないのか。

**答** 指導員の人数が不足しており、即実施は難しい。もう少し体制を整える必要がある。

# 21年度 一般会計・特別会計

一般会計

歳入94億1624万7000円

歳出86億9697万3000円

**問** 狂犬病の予防注射の手数料が、新聞広告では安く接種できるところもある。金額設定はどのようになるか。

**答** 獣医師会に加盟していないところもあり、そこでは予防接種のみである。県下で実施の予防接種は、獣医師会の人件費などが入っているため少し高い。

**問** 昭和地区からは再三に渡り、墓地公園整備の要望があるが。

**答** この地域に墓地公園がないことも現実である。今後検討したい。

**問** 戦没者追悼式は、多くの高齢者が参列している。マイクロバスの送迎はできないか。

**答** 21年は325人来ており、今後検討をしたい。

**問** 臨時職員が増え、正規職員率が低下しているが。

**答** 年次計画で正規保育士を採用している。調理員についても、学校再編等を考慮した中で考える。

**問** 24年度に向けて、国の審議会では介護保険料5200円等試算が示された。国へ要望を。また、介護施設に入りたい方がいるが、待機者は。

**答** 町は、3900円と県平均より低い。国に強く要望していく。また、待機者は町内で、160名程になる。

## 建設経済関係

**問** 有収水量率が向上してきた。どのような対策をしたのか。

**答** 配水管の老朽化が原因で漏水が出ていた。管整備を図ったことにより有収水量率がアップした。

**問** 新名地区の水道の将来計画は。また、綾上中区排水池の連絡管整備で、鎌手地区の低い所に消火栓設置の要望が出ているが。

**答** 新名地区の水道の将来計画は、現在設置する方向で、地元との調整を進めている。

**問** 消火栓設置については、ポンプ場から綾上中区の配水池までは、ポンプを稼働させないと送水ができない。また、このポンプは連続的な稼働はしないので設置は難しい。

**問** 下水道事業の普及率が34%と上っていない。

**問** 遊休農地解消対策事業が4万円しか支出されていないのはなぜか。また、遊休農地は、今後農業振興公社が対応する必要があるのでは。

**答** 遊休農地対策は、農地を開墾し3年以上の利権を得た時に、実績に基づき反当たり、1万円支払っている。しかし4反分しか実績がなかったためである。

**問** 遊休農地解消対策事業が4万円しか支出されていないのはなぜか。また、遊休農地は、今後農業振興公社が対応する必要があるのでは。

**答** 遊休農地対策は、農地を開墾し3年以上の利権を得た時に、実績に基づき反当たり、1万円支払っている。しかし4反分しか実績がなかったためである。



完成している綾上中区排水池（粉所）



イノシシ

また、公社がそばで14ha、菜種5.5haの栽培をしているが、全て公社が対応するのは難しい。今後、担い手農家の利用実績、集落営農の取組みが必要である。

**問** イノシシの被害が多く出ている。しかし、その割に予算が少ないが。

**答** 県単で36頭の捕獲分、町単で58頭分、合計94頭分の実績に対して捕獲駆除奨励金を支給している。その上、町単として電気柵設置補助も行っている。

# 議会 傍聴記

あなたも、議会を傍聴してみませんか。  
手続きは住所・氏名・年齢を記入するだけです。  
今回の傍聴は、羽床小学校6年生(16人)を含む、24人でした。



熱心に傍聴する羽床小学校6年生 (12月13日)

羽床小学校 6年  
小田 菜摘さん



12月13日に役場での町議会を見学しました。

私がまず思ったことは、女性の議員が一人しかいなくて少ないということ。女性は、家事や子育てなどで大変だけど、女性の立場で地域のことにについて考えることも必要なので積極的に活動する方が増えるといいなと思いました。

議案の内容はいろいろありました。その中でも予算に関する言葉がよく出てきていると思いました。綾川町は本当に小さな町なのに、1年間に何十億というお金が必要であることと知って、驚きました。どんなことにもお金はたくさん必要なのだなあと改めて思いました。話し合っている内容は、難しくよく分からない

ことが多かったですが、町の問題をしっかりと話し合っていることが分かってよい体験ができました。

羽床小学校 6年  
竹内 千智さん



羽床小学校6年生全員で、議会見学をしました。見学をして気付いたことが2つあります。

1つ目は、議員さんや町の職員の方がたくさんいることです。職員の方や議員さんが協力して町をよくしている姿を初めて見て、すごいなあと思いました。

2つ目は、机の上にいるいろいろな物が置いてあったことです。筆記用具やたくさん資料、辞書を置いてある人もいました。法律のことなどが書かれています。のかなと思いました。会場はとても静かで、発言者が

言っていることがよく分かるような雰囲気でした。この議会の様子を知りたくて頭にを入れて、大人になったら傍聴するなどして政治にも関心をもっていきたいと思いました。

## 議会日誌

- 10月14日 第51回四国地区町村議会議長会研修会(高知県)
- 19~22日 市町村議会議員特別研修 市町村議会議員特別研修(滋賀県)
- 25日 全員協議会
- 27日 鹿兒島県給良市議会行政視察来町(食育)
- 29日 香川県町議会議員研修会
- 4~5日 市町村議会議員特別セミナー(千葉県)
- 5日 綾川町議員年金受給者会研修会
- 8日 広報編集委員等県外研修(広島県久安郡坂町)
- 12日 議会運営委員会、全員協議会
- 15日 瀬戸・高松定住自立圏推進委員会
- 17日 広島県安芸太田町議全行政視察来町(病院の事業運営)
- 17日 滋賀県東市議全行政視察来町(農事組合法人山田営業組合の活動取り組み)
- 18日 第54回全国議長大会(東京都)
- 19日 全国過疎地域自立促進連盟第41回定期総会
- 22日 後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 22日 決算審査特別委員会(総務関係)
- 24日 決算審査特別委員会(厚生関係)
- 25日 決算審査特別委員会
- 26日 (建設経済関係) 議会運営委員会、臨時会
- 29日 建設経済委員協議会、現地踏査
- 12月13日 議会運営委員会、本会議
- 14日 全員協議会、広報委員会
- 15日 総務常任委員会
- 16日 厚生常任委員会
- 17日 建設経済常任委員会
- 20日 議会運営委員会、全員協議会、本会議
- 24日 広報委員会
- 1月7日 広報委員会

## 編集後記

読者の皆さん明けましておめでとうございませう。昨年からの町民の間で話題となっていた学校等再編整備問題は、12月定例会で、学校等再編整備調査特別委員会が設置され、またこの問題についてこれまで以上に議会全体で話し合いを深めていくことになりました。ハード面だけではなく、綾川町の教育の行く末を占うことにもなり、重要な案件であります。思いついたことを、ぜひ身近な議員にお伝え下さい。

皆さんにとって今年がよい年でありませう。願って、議会だより19号をお届けします。

「変わらぬご愛読を」

### 議会広報編集委員会

- 委員長 安藤 利光
- 副委員長 福家利智子
- 委員 川崎 泰史
- 委員 福家 功
- 委員 横井 薫
- 委員 鈴木 義明